「観光学科」の新設要望

天童市 地元の県立高校に

山形県の菅野教育長（右）に要望書を渡す天童市の山本市長

山形県天童市の山本信治市長をはじめ、市の観光物産協会、農業協同組合、商工会議所の代表者ら約10人が12月20日、山形県庁を訪れ、吉村美栄子知事と菅野滋教育長に対し、県立天童高校に「観光学科」を新設するよう求める要望書を手渡した。山本市長、伊藤彰・天童市観光物産協会長、地元選出の県会議員らが趣旨を説明した。

山本市長は「国が策定している観光立国推進基本計画が示す通り、観光は国の成長戦略の基幹だ。観光の裾野の拡大と質の向上に、新たにおもてなしの条項も加わった。観光振興はまさしく地域振興と人づくりであり、観光学科の新設をお願いしたい」と要請した。

伊藤会長は「観光の一番のファクターはおもてなし力を強化すること。木の幹を育てなければ、よい枝葉は育たない。優れた人材の育成のためにも学ぶ場所が必要」と訴えた。

これに対し、菅野教育長は「新設となると学習指導要項の組み換えが必要で、単位取得のカリキュラム作成や指導者の確保と養成も課題となる。雇用の受け皿も含め、地域の理解と協力が必要。意見を集約し、検討していきたい」との意向を示した。【東北支局】

2月6日に東京で 修学旅行セミナー 和歌山県

和歌山県は2月6日、修学旅行セミナーを東京都中央区のAP東京八重洲通りで開く。「ほんまもん体験」としてPRしている体験交流型修学旅行の魅力を紹介する。首都圏の旅行会社や学校関係者が対象で、個別の相談会も行う。

県が修学旅行の受け入れ態勢などを説明し、各地域の受け入れ組織が体験交流プログラムの内容などをアピールする。2013年度に和歌山県内で修学旅行を実施した東京都内の公立中学校、神奈川県内の県立高校の事例発表もある。

和歌山県では、自然や文化を生かした産業体験やアウトドア体験、生活体験などのプログラムを整備。民泊の受け入れ態勢も充実させ、修学旅行など教育旅行の誘致を進めている。教育旅行の誘致を強化して以来、受け入れ実績は05年度には6校だったが、年々増加し、12年度は45校、13年度は49校を見込む。

参加者を募集中。問い合わせは、和歌山県観光交流課☎073（441）2785。

福島県の観光復興に補助金を追加交付

観光庁

観光庁は12月20日、福島県に対する観光関連復興支援事業で新たな補助金の交付を決定した。原発事故などに伴う風評を払拭するため、国内外に向けた情報発信の事業に6200万円を交付する。2013年9月に決定した補助金2億8300万円に追加して交付する。

東日本大震災からの復興に向けて福島県が実施する観光関連事業を支援。県からの申請に応じて交付を決定したもので、国の補助率は総事業費の8割となっている。

補助金の追加交付が決まった事業では、国内向けには首都圏を対象とする観光キャラバン、広告宣伝などの情報発信事業を実施。海外向けには、韓国を対象に旅行会社やメディアの招請事業を行うほか、観光を多言語でPRするDVDを作成する。

全旅連青年部東北ブロック 旅館テーマにセミナー

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会の青年部東北ブロック（斉藤靖子ブロック長＝男鹿萬盛閣）は12月19日、仙台市・秋保温泉の佐勘で、復興庁の支援を受けて「旅館ブランドの再構築と新たな商流」に関するセミナーを開いた＝写真。東北6県の青年部員をはじめ復興庁、東北運輸局の関係者ら約100人が参加した。

主催者を代表してあいさつした斉藤ブロック長は「日本の中の東北ではなく、世界の中の東北の観点から、世界に情報を発信し、東北を売り込まなければならない。世界から選ばれる、魅力ある旅館に変わらなければならない」と述べた。

復興庁の柿沼宏明参事官補は「復興庁の新しいスキームでモデル事業を設定した。世界に情報を発信し東北へ外国人を呼び込もう。東北の心を一つにし、一丸となってアライアンス（連携）の構築に向けて取り組むことを期待する」と述べた。

セミナーでは東北運輸局の吉田昭二企画観光部長が「インバウンド観光と旅館業の方向性について」と題して講演。吉田部長は「訪日外国人旅行者数1千万人は通過点にすぎない。2千万人、3千万人を目指すための施策として、日本ブランドの作り上げと発信、ビザ要件の緩和、受け入れ態勢の改善―などに取り組む」と強調した。

このほか、「旅館産業におけるソーシャルメディア・口コミの必要性」などの講演と質疑応答が行われた。

大阪府・市が立地準備会議

IR誘致へ初会合

大阪府と大阪市は12月24日、大阪府咲洲庁舎で「第1回大阪府市IR立地準備会議」を開催した＝写真。松井一郎大阪府知事、橋下徹大阪市長らが出席。大阪府と大阪市が連携してIR（カジノを含む統合型リゾート）の誘致を目指す。

松井知事が本部長、橋下市長が副本部長を務める。大江桂子・大阪府府民文化部長、井上雅之・大阪市経済戦略局長も出席。オブザーバーとして橋爪紳也・大阪府立大学教授（大阪府市特別顧問）が参加した。

会議の冒頭、松井知事は「IRを大阪に誘致したいと考えている。ベイエリアは可能性がある。IR1カ所で7万人の雇用があり、大阪の起爆剤になる」と述べた。

会議では、大阪市の井上局長がIR推進法、IR実施法の成立の見込みや、地方や東京など各地の誘致状況のほか、IR事業者のニーズの聞き取りも行っていることなどを説明した。

大阪府の大江部長は、2014年2月をめどに府民の啓蒙を目的としたシンポジウムを開催することや、府民向けアンケート調査の実施を報告した。

会議終了後の記者団による囲み取材で松井知事は「世界規模のIRを誘致するには夢洲（地区）と考えている。東京オリンピックに間に合わせたい」と訴えた。

橋下市長は「（東京オリンピックの時）東京では宿泊などキャパシティーが足りないと聞いている。東京オリンピックの共同事業として、大阪のIRと京都や奈良の観光も合わせ、パッケージで売り出すことを国家プロジェクトで取り組んでもらえるように働きかけていきたい」と話した。

IRテーマにシンポジウム

PFI・PPP協会

日本PFI・PPP協会は1月15日、特別シンポジウム「観光立国日本とIRエンターテイメント」を東京都港区虎ノ門の発明会館ホールで開催する。IRとエンターテイメントビジネスなどについて考える。

基調講演は、「カジノを含む統合型リゾートとエンターテイメント」をテーマにダンエンタープライズの吉田斉代表取締役が語る。

講演は他にも、「育成の視点から見たミス日本と統合型リゾート施設」（講師＝ミス日本コンテスト事務局の和田優子大会委員長）、「観光におけるゴルフからの視点」（同＝日本プロゴルフ協会PGA競技部の山内崇暉氏）、「エンターテインメントの作り手として」（同＝オフィスひらめ&中村JAPANドラマティックカンパニーの中村龍史氏）などが行われる。

参加費は行政職員、議員は無料。会員企業は3千円。会員外企業は2万円。定員150人。

高杉晋作テーマに誘客

萩・下関 没後150年へポスター

山口県萩市と下関市はこのほど、2017年の高杉晋作没後150周年に向けて高杉ゆかりの地をアピールするため、高杉が長州藩内の反対勢力に対して挙兵した12月15日の功山寺決起の日に合わせて観光PR用のポスター＝写真＝を作成した。

15年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」では、山口県内の萩や下関がゆかりの地となるほか、主要な登場人物に高杉の名前も挙がっており、観光振興への期待が高まっている。

ポスターデザインには、昨年度製作した高杉をモチーフにしたロゴをメーンビジュアルに使用。高杉ゆかりの地や下関のふぐ刺しの写真などを使った。

関西圏を中心としたPR効果の高い西日本のJR主要駅で順次掲出し、誘客促進に努める。PRしてくれる事業者などには無償で提供する予定。

製作枚数はB1サイズ800枚。JRへの掲出に300枚を使用し、残る500枚を萩市と下関市で使用する。

萩市と下関市は12年10月29日に連携して観光事業を行う「高杉晋作没後150周年記念広域連携事業協定」を締結している。

雪山頂上にスターバックス

長野・志賀高原 横手山・渋峠スキー場

店舗内からの眺望

志賀高原（長野県）の横手山・渋峠スキー場を運営する横手山リフト（山ノ内町、小林義郎社長）は、大手コーヒーチェーン、スターバックスコーヒージャパン（東京都品川区）の店舗を誘致し、店舗は12月18日に営業を開始した。店舗は横手山頂上（2307㍍）にあり、スターバックスとしては日本一高い標高に位置する。

開店したのは「スターバックスコーヒー横手山山頂店」で、席数は40。2年前に休業した食堂の建物を改装して使用している。隣に高山植物だけを販売する。価格は他の通常店舗と変わらないが、商品の大きさはトールサイズのみとなっている。

営業時間は、リフトの運行に合わせて午前9時から午後3時まで。今シーズンの開店期間は5月中旬までの予定。

小林社長は「外国人がすぐ認知できるブランド。スキー場での営業は話題性がある」と話す。

最終的にスタバが出店した決め手は「日本一標高が高い場所にある店舗という珍しさと富士山や佐渡島、樹氷を見ることができる360度の眺望」（小林社長）だったという。

横手山リフトにスタバを紹介した一茶のこみち美湯の宿の斉須正男社長は「スキー客の減少が続く中、少しでも地域貢献の一助になれば」と話している。

標高日本一の店舗

ベーカリーショップがあるため、コーヒーなどの飲みだけを販売する。

中之島にぎわいの森でイベント

ドリカムが歌とトーク

大阪府が進める「中之島にぎわいの森プロジェクト」の集大成として人気アーティスト、DREAMS COME TRUE（ドリームズ・カム・トゥルー＝ドリカム）とのコラボレーションイベントが12月14日、大阪市中央公会堂前広場特設ステージと西天満若松浜公園で開催された。

イベントの名称は「中之島にぎわいの森×DREAMS COME TRUE WINTER FANTASIA2013～大阪LOVER～」。

第1部では、特設ステージで、松井一郎大阪府知事や橋下徹大阪市長、ドリカムの中村正人さんらによるトークショー＝写真＝、ドリカムの野外ライブが開催された。大阪を舞台にした楽曲「大阪LOVER」などのヒット曲を披露。第2部では、イルミネーションの点灯式を松井知事やドリカムの吉田美和さん、中村さんらが行った。

中之島にぎわいの森プロジェクトは、中之島の堂島川の川辺を緑と遊歩道でつなぎ、水辺の親水性を生かしつつ河川沿いの回遊性を高めることなどが狙い。ドリカムとは、中之島の川沿いで水辺のランドマークとなるシンボルツリーの植樹、イルミネーションの点灯イベントなどをともに3年間開催してきた。2014年は、みどりの広場や民間事業者が整備する商業施設もオープンする。

7～9月の入込客 震災前比で6％減

茨城県

茨城県はこのほど、観光客動態調査の結果として、2013年7～9月の入込客数が延べ1477万3千人だったと発表した。前年同期と比較すると3・1％の増加だったが、東日本大震災前の10年同期と比較すると5・5％減だった。

10年の数値との比較は、統計の手法に変更があったため、比較可能な観光地点に限っている。年間の延べ入込客数は11年が10年比22・8％減、12年が同9・4％減だった。13年は9月までの月別でみると、10年同月比でプラスを示したのは1月だけだった。

台湾のコンビニで誘客キャンペーン

富山県と長野県

富山県と長野県は1月8日～2月4日、台湾向けのキャンペーンを連携して実施する。台湾ファミリーマート全2856店舗の利用者を対象に、航空券や宿泊券を抽選でプレゼントする。両県の観光をPRする冊子なども全店舗で配布する。

白い湯の宿
奥日光小西ホテル
女将 小西 令子
〒321-1662
日光市湯元2549-5
TEL 0288-62-1241
FAX 0288-62-1360

リゾートコミュニケーション
鬼怒川パークホテルズ
取締役 小野 真
〒321-2522 栃木県日光市鬼怒川温泉大原二四〇九
（TEL）〇二八八―七七―三二八九
（FAX）〇二八八―七七―〇〇〇〇
東京営業所
（TEL）〇三―三八三四―三二八九
（URL）http://www.park-hotels.com
（MAIL）park2@aqua.ocn.ne.jp

謹賀新年
平成26年 賀正

湯治の宿 後生掛温泉旅館
十和田八幡平国立公園
秋田県鹿角市八幡平
TEL 〇一八六―三一―一一一一(代)
FAX 〇一八六―三一―三三三三

山形県 蔵王温泉
蔵王源泉 おおみや旅館
離れ湯 百八歩 蔵王四季のホテル
八右衛門の湯 蔵王国際ホテル
代表取締役 伊藤八右衛門

政府登録国際観光旅館
鳴子観光ホテル
代表取締役 大沼眞治
〒989-6823 宮城県大崎市鳴子温泉字湯元四一
電話 〇二二九(83)二三三三(代)
予約直通 〇二二九(83)四三三〇

気仙沼温泉 気仙沼プラザホテル
宮城県気仙沼市柏崎1-1 TEL0226-23-1313（代）
気仙沼温泉 サンマリン気仙沼ホテル観洋
宮城県気仙沼市港町4-19 TEL0226-24-1200（代）
南三陸温泉 南三陸ホテル観洋
宮城県本吉郡南三陸町黒崎99-17 TEL0226-46-2442（代）
http://www.kanyo.co.jp
HPブログ「ときめきピチピチ便り」毎日更新中

福島市／高湯温泉
旅館 玉子湯
代表取締役社長 後藤省一
〒960-2261 福島市町庭坂字高湯7番地
TEL 福島(024) 591-1171
FAX 福島(024) 591-4629
http://www.naf.co.jp/tamagoyu/

湯楽の館「翠みどり」好評
露天風呂付客室12室
薫風の館「茜」
信州大町温泉郷
国際観光ホテル整備法登録旅館
緑翠亭 景水
長野県大町市大町温泉郷 電話0261(22)5501(代)
URL http://www.keisui.jp

鹿教湯温泉 斎藤ホテル
代表取締役社長 斎藤宗治
株式会社 斎藤ホテル
〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉
TEL0268-44-2211
FAX0268-45-3540
URL http://www.saito-hotel.co.jp

富山県黒部峡谷宇奈月温泉
国際観光ホテル整備法登録旅館
延楽
代表取締役社長 濱田政利
〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉三四七―一
電話（〇七六五）六二―一二一一
FAX（〇七六五）六二―一一〇七六

離れの湯けむり座敷「季里の湯」
政府登録国際観光旅館
株式会社 湯沢グランドホテル
代表取締役 村山桂子
〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢2494
電話（025）784―2351（大代表）
URL http://yuzawagrandhotel.jp/
E-mail gh-yoyaku@yuzawagrandhotel.jp

有縁の湯
赤倉ホテル
代表取締役 村越昭文
新潟県妙高市赤倉四八六
〒九四九―二一一一
TEL（〇二五五）八七―二〇〇一(代)
FAX（〇二五五）八七―二〇三三

五頭連峰県立自然公園
村杉温泉
風雅の宿 長生館
政府登録国際観光旅館
代表取締役 荒木紀子
新潟県阿賀野市 村杉温泉
TEL（0250）（66）2111(代)
FAX（0250）（66）2151
郵便番号 959-1928
http://www.chouseikan.co.jp

新潟県月岡温泉
ホテル清風苑
代表取締役社長 樋口恵一
新潟県新発田市月岡温泉278-2
TEL 0254-32-2000
FAX 0254-32-2945

心とけあう、くつろぎの宿
代表取締役社長 渡辺忠栄
政府登録国際観光旅館
ふくしま・母知温泉・やはたや
八幡屋
〒963-7831 福島県石川郡石川町母畑温泉
TEL 0247(26)3131(代)・FAX 0247(26)1220